

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1030310
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 継続

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	国保年金課	国保班

事業(予算)名	医療費適正化特別対策事業
---------	--------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策3 健康で生きがいのある生活を支える高齢者福祉の充実						
	施策の展開	(3) 安心して生活するための健康づくりの推進						
予算科目	会計	国保	款	1	項	1	目	3
関連計画・根拠法令等	国民健康保険法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	不明				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	被保険者数は減少傾向にあるが、被保険者の高齢化や医療の高度化などにより保険給付費は増加傾向にある。						
	対象(誰・何を)	富里市国民健康保険被保険者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	医療の受診状況をお知らせし、受診内容及び不正請求等の有無などについて確認していただくため、年4回、世帯主様宛に「国民健康保険医療費通知」を送付している。 また、第三者の行為によって受診した場合の医療費求償事務を国保連合会に委託するとともに診療報酬明細書の内容について専門業者に委託して不正な請求が含まれていないかチェックし、可能性のあるものについて再審査請求している。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
医療費通知数	通	28,933	29,870	29,870	29,870	1件あたりの郵便料となるため
第三者行為求償件数	件	10	20	20	20	1件あたりの手数料となるため
診療報酬明細書点検件数	件	232,754	246,400	246,400	246,400	1件あたりの単価となるため
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名		部等名	課等名		班等名			
医療費適正化特別対策事業		健康福祉部	国保年金課		国保班			
指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	医療費通知数	通	—	—	29,870		29,870	
	第三者行為求償件数	件	—	—	20		20	
	診療報酬明細書点検件数	件	—	—	246,400		246,400	
第三次実施計画	活動指標*	医療費通知数	通	29,850	28,933	—	—	—
		第三者行為求償件数	件	20	10	—	—	—
		診療報酬明細書点検件数	件	246,400	232,754	—	—	—
	成果指標*			—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	指標に掲げた目標値をクリアしていることから、不正請求及び医療費の抑制に効果があったと思われる。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	不正請求及び医療費の抑制に繋がることから事業を継続していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1050210
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	国保年金課	国保班

事業(予算)名	特定健康診査等事業
---------	-----------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策5 活力ある充実した生活を支える健康づくり・医療体制の充実						
	施策の展開	(2) 保健サービスの充実						
予算科目	会計	国保	款	5	項	1	目	1
関連計画・根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第20条							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	不明				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	特定健康診査は、予備日の設置や勧奨ハガキの送付等により徐々に受診率も上がってきているが、特に40歳代男性の受診率が低い傾向にある。疾病の早期発見、早期治療の観点からも40～50代の受診率向上の取り組みが必要となる。					
	対象(誰・何を)	①特定健康診査 40歳以上の国民健康保険被保険者 ②特定保健指導 特定健康診査の結果、支援が必要と判定された人					
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	高齢化の進展や生活習慣病の増加等により、医療費が増大することが懸念されている。医療費総額の3割は予防可能と考えられている生活習慣病であり、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した特定健康診査及び特定保健指導の実施が各保険者に義務化された。 これにより、40歳以上の被保険者に対し特定健康診査を実施し、その結果、支援が必要と判定された方を対象として特定保健指導を実施している。					
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()					
	事業手法選択の理由	理由については、健診を専門に請け負う業者に委託することで国民健康保険特定健診だけでなく一般健診や後期高齢者健診を受診する被保険者を同時に、かつ多数を健診できるため、直営で行うより業者委託の方がコストの削減につながる。また特定保健指導についても、健診データを基に保健指導該当者を抽出し、事業を実施するため健診実施業者に委託することで、効率的かつ効果的に事業を実施できるため。					
	協働の取組	有	協働の取組内容		健診の運営補助等		

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
特定健診受診率	%	36.5	39	41	43	被保険者の健康管理。健康意識の向上。生活習慣病予備群・保健指導予備群の把握。
特定保健指導実施率	%	10.9	15	17	19	生活習慣の改善による生活習慣病予防。糖尿病性腎症重症化予防。
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名		部等名	課等名		班等名			
特定健康診査等事業		健康福祉部	国保年金課		国保班			
指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	特定健診受診率	%	—	—	39		41	
	特定保健指導実施率	%	—	—	15		17	
			—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	40歳以上の富里市国民健康保険被保険者数	人	11,600	10,987	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
	成果指標*	特定健康診査受診率	%	60	36.5	—	—	—
		特定保健指導実施率	%	60	10.9	—	—	—
				—	—	—	—	

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果がなかった
		判断理由	特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の低下
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	医療保険者には、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づいて、40歳から74歳(年度中に到達する当該年齢をいう)の被保険者と対象とする内臓脂肪型肥満に着目した健康診査が義務付けられているため、国の指針に従って計画的に事業を実施していく。また、特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上のため、未受診者等の分析を行い、効果的な勧奨をする。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
後期高齢者医療一般管理事業	健康福祉部	国保年金課	高齢者医療年金班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	後期高齢者医療被保険者数	人	—	—	5,127		5,691		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	後期高齢者医療被保険者	人	4,619	4,619	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	後期高齢者医療被保険者	人	4,619	4,619	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	後期高齢者医療保険制度の被保険者証の交付等市町村事務, 後期高齢者医療システムの保守及び賃借等に関する費用を支出した。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	被保険者が年々増加しており, 関係事務量, 関係経費が増加することが想定される。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1060110
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	国保年金課	高齢者医療年金班

事業(予算)名	後期高齢者健康診査受託事業
---------	---------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策6 安心して暮らせる社会保障の充実						
	施策の展開	(1) 国民健康保険制度等の適正な運用						
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	8
関連計画・根拠法令等	千葉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例 富里市後期高齢者医療に関する条例							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	千葉県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、被保険者の健康維持、疾病の早期発見、早期治療を目的に実施する事業であるが、年々被保険者数の増加により委託料、通知に係る通信費等も増額している。						
	対象(誰・何を)	後期高齢者医療被保険者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	千葉県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、被保険者の健康維持、疾病の早期発見、早期治療を目的に実施する事業である。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	健診を専門に請け負う業者に委託することで後期高齢者健康診査、国民健康保険特定健診、一般健診を同時に、かつ多数を健診でき、直営で行うより業者委託の方がコストの削減につながる。また保健指導についても、健診データを基に保健指導該当者を抽出し、事業を実施することができ、疾病の早期発見、早期治療に繋がるため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
後期高齢者医療被保険者数	人	4,619	5,127	5,691	6,317	各年度当初の被保険者数
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
後期高齢者健康診査受託事業	健康福祉部	国保年金課	高齢者医療年金班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	後期高齢者医療被保険者	人	—	—	5,127		5,691		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	後期高齢者医療被保険者	人	4,619	4,619	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	健康診査受診率	%	30.00	30.24	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	千葉県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、被保険者の健康維持、疾病の早期発見、早期治療を目的に実施する事業に関する費用に支出した。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	後期高齢者医療被保険者数の増加により、委託料、通知に係る通信費等も増加している。 平成30年度実施の健康診査からクレアチニン検査が追加項目となったことから、検診者全員が実施する基本項目にクレアチニン、尿酸、貧血検査の3項目を加え実施する。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続 継続 主要事業 × 事業コード 1060110



【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	国保年金課	国保班

事業(予算)名	国保一般管理事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策6. 安心して暮らせる社会保障の充実						
	施策の展開	(1)国民健康保険制度等の適正な運用						
予算科目	会計	国保	款	1	項	1	目	1
関連計画・根拠法令等	国民健康保険法・富里市国民健康保険条例・富里市国民健康保険条例施行規則							
事業期間	—							

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	国民健康保険制度の運営のため必要な事務経費。被保険者証・資格証明書は色が変わるため2年分を購入。						
	対象 (誰・何を)	富里市国民健康保険被保険者						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	国民健康保険制度の運営に必要な事務用消耗品、印刷製本費、通信運搬費等に要する費用を支出している。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法 選択の理由	事業の性質上、担当職員等により直接的に事務事業を実施するため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
富里市国民健康保険被保険者数	人	15,763	15,346	14,887	14,433	年度平均人数を指標とする
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
国保一般管理事業	健康福祉部	国保年金課	国保班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	富里市国民健康保険被保険者数	人	—	—	15,346		14,887		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	富里市国民健康保険被保険者数	人	15,810	15,763	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*			—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	国民健康保険制度の運営に必要な事務用消耗品, 印刷製本費, 通信運搬費等に要する費用を支出した。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	国民健康保険保険者として, 国民健康保険制度に則り事務を進め, 改正に対しても遅滞なく対応する。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	1060110
国保事務電算処理事業	健康福祉部	国保年金課	国保班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	富里市国民健康保険被保険者数	人	—	—	15,346		14,887		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	富里市国民健康保険被保険者数	人	15,810	15,763	—	—	—	—
		診療報酬明細書件数	件	240,000	225,615	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*			—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	平成30年度からの広域化等の制度改革に対応するためのシステム改修を行った。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	安定した国民健康保険制度の運営を行うため、制度改革等に遅滞なく対応し、必要な電算処理を継続していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1060110
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分

継続

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	国保年金課	国保班

事業(予算)名	趣旨普及事業
---------	--------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策6 安心して暮らせる社会保障の充実						
	施策の展開	(1) 国民健康保険制度等の適正な運用						
予算科目	会計	国保	款	1	項	4	目	1
関連計画・根拠法令等	国民健康保険法、富里市国民健康保険条例、富里市国民健康保険条例施行規則							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	不明				—			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	被保険者数は減少傾向にあるが、前期高齢者(65歳以上75歳未満)は増加傾向にある。						
	対象 (誰・何を)	富里市国民健康保険被保険者、70歳以上の被保険者						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	国民健康保険制度は、非常に複雑であり、頻繁に改正が行われることから毎年度新しいパンフレット等を購入し、それに基づき被保険者に対して説明している。特に70歳以上になった場合、制度内容が変わることから対象者に対して、高齢受給者証及びパンフレットを送付している。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法 選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
富里市国民健康保険被保険者数	人	15,763	15,346	14,887	14,433	年度平均人数を指標とする
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
趣旨普及事業	健康福祉部	国保年金課	国保班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	富里市国民健康保険被保険者数	人	—	—	15,346		14,887		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	富里市国民健康保険被保険者数	人	15,810	15,763	—	—	—	—
		70歳以上の富里市国民健康保険被保険者数	人	2,750	2,427	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*			—	—	—	—	—	—
					—	—	—	—	—
					—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	ホームページ・広報で制度の周知を図っている。 資格取得及び手続き時にパンフレット等を配付して周知を図っている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	保険者として、国民健康保険制度を周知するために実施する。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1060110
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	国保年金課	高齢者医療年金班

事業(予算)名	徴収事業
---------	------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策6 安心して暮らせる社会保障の充実						
	施策の展開	(1) 国民健康保険制度等の適正な運用						
予算科目	会計	後期高齢	款	1	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	千葉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例 富里市後期高齢者医療に関する条例							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	対象者が後期高齢者医療保険被保険者であり、高齢であることから、保険料の納付について納付しやすい場所の設定が求められる。また、保険料の納付率も県内で低いことから、対策が必要である。						
	対象(誰・何を)	後期高齢者医療被保険者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	後期高齢者医療保険制度の被保険者への納付書、保険料額決定通知等の送付、収納の管理等を行っている。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	市町村の事務分担に係る事務を行うことから職員が直接的に行っているため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
後期高齢者医療被保険者数	人	4,619	5,127	5,691	6,317	各年度当初の被保険者数
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
徴収事業	健康福祉部	国保年金課	高齢者医療年金班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	後期高齢者医療被保険者数	人	—	—	5,127		5,691		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	後期高齢者医療被保険者数	人	4,619	4,619	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	後期高齢者医療保険料収納率	%	98.7	98.78	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	後期高齢者医療保険制度の被保険者への納付書, 保険料額決定通知等の送付, 収納の管理等に関する費用を支出している。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	平成31年度から高齢者においても納付のしやすさ, 収納率の向上を目指す目的で, コンビニでの収納を予定する。コンビニ収納に係る各所テスト費用等が必要となる。また, 被保険者数が毎年増加していることから, 通信運搬費等の増加が見込まれる。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1060110
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	国保年金課	国保税班

事業(予算)名	賦課徴収事業
---------	--------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策6 安心して暮らせる社会保障の充実						
	施策の展開	(1) 国民健康保険制度等の適正な運用						
予算科目	会計	国保	款	1	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	地方税法(第703条の4)							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	国民健康保険に加入している被保険者の世帯主に対し、保険税を適正に課税する。なお、近年、国保世帯数や被保険者数は減少傾向にある。						
	対象(誰・何を)	・国民健康保険に加入している被保険者の世帯主を対象に国民健康保険税を課税(賦課)する。 ・口座振替新規対象者の拡大をめざす						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	国民健康保険税に係る賦課、当初納税通知書の発送及び、毎月の異動等に伴う税額更正通知書の発送、短期保険証・資格証の更新等を主要業務とする。 口座振替の推進については、新規加入時の窓口申請時での勧奨及び、当初納税通知書発送時(7/15頃)に、口座振替依頼ハガキ及び目隠しシール等を同封するなど実施している。平成29年度からは、キャッシュカードによるペイジー口座振替端末の窓口導入も図った。なお、国保世帯数や被保険者数は減少傾向にあり、賦課調定については、近年減少傾向にある。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	賦課徴収事業の一部は委託料(当初本算定委託・システム改修委託等)が発生するが、事業の性質上、担当職員等による直接的な事務事業を実施するものであるため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	指標	単位	実績値 29年度	目標値 30年度	目標値 31年度	目標値 32年度	指標として設定する理由
	口座振替率	%	25.02	26	27	28	
	後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
	総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
			()				
		()					
		()					

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
賦課徴収事業	健康福祉部	国保年金課	国保税班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	口座振替率	%	—	—	26		27		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	納税通知書発送数	件	9,700	9,586	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	調定額(予算・収入済額ベース)	千円	1,489,104	1,525,009	—	—	—	—
		口座振替率	%	25.00	25.02	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	国民健康保険税の(当初)納税通知書の発送件数は、国民健康保険の加入状況(後期高齢者医療保険への移行や社会保険の加入等)によるため、発送件数の多寡が活動指標の成果に直結するものではないものの、調定額や収入済額においては、概ね、保険税の推計どおり数値を計上することができた。 また、口座振替率については、平成29年7月に、キャッシュカードによるペイジー口座振替受付サービスを導入し、口座振替の勧奨を強化するなど、口座振替率の向上に積極的に取り組むことができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	平成30年4月1日施行の国民健康保険税条例施行規則の改正により、「口座振替原則化」を実施し、口座振替率の更なる向上のため、啓発活動や積極的な勧奨(郵送通知や窓口での勧誘等)を実施予定。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1060110
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	国保年金課	国保班

事業(予算)名	保健事業							
総合計画体系	施策の大綱		第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち					
	施策		施策6 安心して暮らせる社会保障の充実					
	施策の展開		(1) 国民健康保険制度等の適正な運用					
予算科目	会計	国保	款	5	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	富里市国民健康保険条例 富里市人間ドック及び脳ドック助成金交付要綱							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	25				-			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	人間ドックの助成を開始してから、脳ドックの申請も年々増加している。今後も人間ドック等の申請数の増加が見込まれる。						
	対象(誰・何を)	被保険者および40歳以上の富里市国民健康保険被保険者(国保加入1年以上、市税滞納なし)						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	人間ドック及び脳ドックの助成を行う。(人間ドック検査費用の1/2 限度額20,000円, 脳ドック検査費用の1/2 限度額20,000円) また、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針の一部が改正(平成26年3月31日厚生労働省告示第140号)され、「保険者は健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画(データヘルス計画)を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うこと」とされた。よって、本市においても、PDCAサイクルに沿った効果的な保健事業の実施の実現に向け、平成29年度に策定した「保健事業実施計画(データヘルス計画)」を推進し、更なる被保険者の健康保持増進を図る。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
人間ドック及び脳ドック助成件数	件	198	300	330	360	疾病の早期発見及び早期治療。特定健診データの掌握。国民健康保険事業の健全な運営に寄与する。
生活習慣病教室(健康教室)参加人数	人	-	320	320	320	健康教室を実施し、疾患予防と重症化予防をはかり国民健康保険事業の適正な財政運営に寄与する。
糖尿病性腎症重症化予防事業実施人数	人	-				糖尿病性腎症重症化を予防し、医療費の抑制をはかり国民健康保険事業の適正な財政運営に寄与する。
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
保健事業	健康福祉部	国保年金課	国保班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	人間ドック及び脳ドック助成件数	件	—	—	300		330		
	生活習慣病教室(健康教室)参加人数	人	—	—	320		320		
	糖尿病性腎症重症化予防事業実施人数	人	—	—					
第三次実施計画	活動指標*	富里市国民健康保険被保険者数	人	15,810	15,763	—	—	—	—
		40歳以上の富里市国民健康保険被保険者数	人	11,600	10,987	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	人間ドック助成件数	件	150	176	—	—	—	—
		脳ドック助成件数	件	90	73	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	国民健康保険被保険者で満40歳以上で人間ドック、脳ドックを受診された方に助成することで疾病の早期発見及び早期治療を図った。
		実績値を踏まえた今後の方針	追加等更に発展させる
		今後の方針の理由及び今後の予定	平成29年度に策定した、平成30年度から6年間のデータヘルス計画に則り更なる被保険者の健康保持増進を図る。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	